

【作業療法士の仕事は？】



作業療法士（Occupational Therapist, OT）は、医療資格の一つです。

『「作業療法士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、作業療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、「作業療法」を行うことを業とする者をいう。「作業療法」とは、身体又は精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行わせることを言う。（理学療法士及び作業療法士法第2条）』

作業療法（occupational therapy）は、リハビリテーション訓練のうち、主に巧緻性、ADL（日常生活動作）、上肢の運動機能、高次脳機能の向上を目的としたものです。（高次脳機能のうち言語能力は言語療法の対象）

作業療法士は、医師の指示のもと、障害のある方に手芸や工作等さまざまな活動を用いて、諸機能の回復・維持および開発を促す作業活動を通して治療、指導、援助をします。作業活動は、日常生活活動、仕事、遊びなど生活に関わる全ての諸動作を指し示すものであり、治療対象者によってその作業活動は様々です。

食事や洗面などの日常生活動作訓練、職業に向けての作業訓練など、幅広い援助が行われており、リハビリテーションの専門医や、ケースワーカーなど、他の専門職との連携がされています。

作業療法士の職場は、社会福祉の分野では肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、身体障害者療護施設、重度身体障害者更生援護施設などへの配置が規定されているほか、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンターなどの老人福祉施設でも施設によって配置している場合があります。このほか、病院やリハビリテーションセンターなどの医療分野が主な活動領域です。

「資格取得方法」

下記①か②のいずれかの要件を満たし、作業療法士国家試験に合格し、作業療法士として登録することにより、作業療法士と名乗ることができます。

- ① 作業療法士養成校（4年制大学、3年制短期大学、専門学校）卒業生
- ② 外国の作業療法に関する学校若しくは養成施設を卒業し、又は外国で作業療法士の免許に相当する免許を得た者で、厚生労働大臣が認めたもの
（平成20年2月現在の作業療法士登録者数は38,097人）